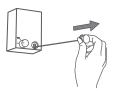
室内物干しワイヤー
Cool. Fun. Experience this life style with this product. Drying clothes in-door can be part of interior. Whenever you need, you just need to pull out the wire.

│ 最大荷重:10kg │ 最長寸法:4.0m

1 本体からタブを引き出す

2 タブを対面のフック に引っかける

3 本体のロックをする









使いたい時だけ、ワイヤーを伸ばして干す。



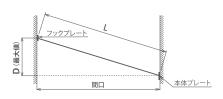


ワイヤーを 4.0m に延長 NEW



ワイヤーがもう少し長ければ pid が使えたのに というお客様のために、pid は pid4M へと進化 しました。4M が新しい pid の目印です。 デザインのコンセプトは pid から受け継がれて います。

斜め対応



ワイヤーを斜めに張る場合は、下記の寸法内 で中心から横にずらすことができます。 ///////// // D(最大値) の計算方法 //////////

- ① 間口が 2m 未満 D≦ 間口/2
- ② 間口が 2m 以上 D≦ 1.0m (L≦4.0m)

洗濯物の重さ

pid の最大荷重は 10 kg です。脱水後の洗濯物の 重さは、乾燥時の約1.5倍になります。

例)洗濯物の組み合わせ

- ・長袖ワイシャツ5着
- Tシャツ5着
- ・ジーンズ2着
- ・バスタオル3枚
- ・トレーナー3着
- ・スカート2着

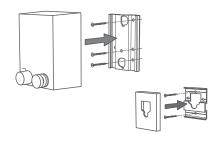
合計約10kg(脱水直後)

安全設計



誤ってタブを離してしまっても、歩行スピード でワイヤーが巻き取られるように安全設計され ています。日常使いの製品だからこそ、万が一 の時にも安心してご使用頂けるよう、初代 pid から継承しているコンセプトです。

取付方法



専用のアルミベースを壁に固定して、本体とフッ クカバーを被せるだけです。

また、壁面が仕上がった後でも下地の位置が分か れば縦横双方の下地への取付が可能です。

※なお、取付には「下地探し」や「ドリル」など 専用の工具が必要になります。

注意

取扱時の注意事項

- ・ 10kg 以上の洗濯物を掛けないで下さい。 また、ワイヤーに強い衝撃を与えないで下 さい。製品や壁面破損の原因となります。
- 洗濯物を干している時は、ロックを解除し ないで下さい。製品や物の破損の原因とな ります。
- 洗濯物を干さない時はワイヤーを収納して 下さい。収納しないとワイヤーと接触して、 けがの恐れがあります。
- 製品本体に水かけたり、濡れたものを掛け ないで下さい。故障の原因となります。
- 洗濯物の下にストーブなど暖房器具を置か ないで下さい。火災の原因となります。
- 分解・修理・改良は行わないで下さい。
- ・ 物干し以外の用途に使用しないで下さい。

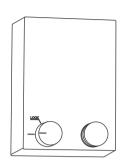


morita 森田アルミ工業株式会社





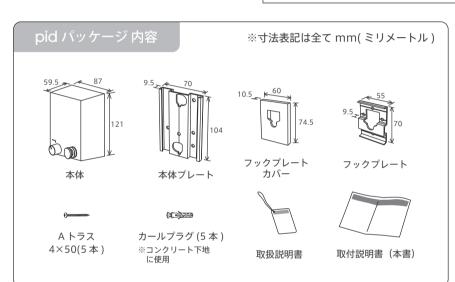
このたびは、室内物干しワイヤー pid4M をお買い上げ頂き、ありがとうございました。 ご使用前にこの取付説明書をよくお読みになり、正しく最適な方法でご使用下さい。

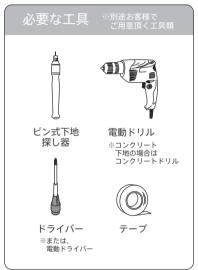




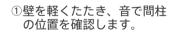
⚠ 注意

- ・本体およびフックの取付は、必ず木下地またはコンクリート下地に行って下さい。
- ・ 本製品は、室内用物干しです。室外には取付しないで下さい。
- ・ 取付高さは床面より1700mm以上の高さに取付して下さい。
- 本体プレートに本体をしっかりとはめ込んで下さい。
- ・フックプレートを固定する前に、フックプレートカバーを被せないで下さい。
- ・ ワイヤーを斜めに張る場合は、本書(2-取付位置と穴あけ位置)に従い、指定の 寸法内で中心から横にずらすことができます。



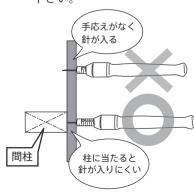


1. 木下地(間柱まばしら)を探す

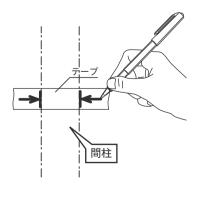




②次に市販のピン式下地探し器 などで正確な位置を確認して 下さい。



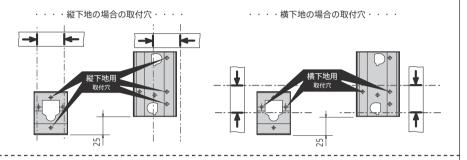
③テープに正確な間柱の位置を 書いて下さい。



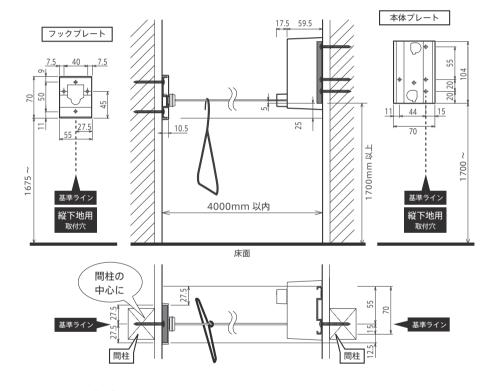
※壁の構造がわからない場合は、工務店や専門業者にご相談下さい。

※寸法表記は全て mm(ミリメートル)

①取付穴を確認して下さい。

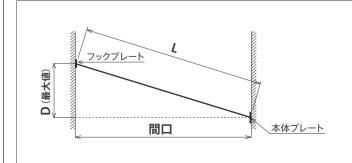


②下の図を参考に間柱の中心部に穴を開ける印を入れて下さい。



斜めにワイヤーを張る場合

※寸法表記は全て m(メートル)

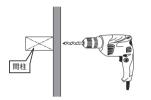


- ① 間口<2.0m D=間口/2 ※間口が2メートル未満では、最大で間口の半分
- ② 間口≧2.0m D=1.0m (L≦4.0m) ※間口が2メートル以上では、最大で1m ※ただし、Lは4m以下
- 例A) 間口=1.5mの場合 D=0.75m
- 例B) 間口=2.5mの場合 D=1.0m
- 例C) 間口=3.0mの場合 D=1.0m

3. 壁面の穴あけ

木下地

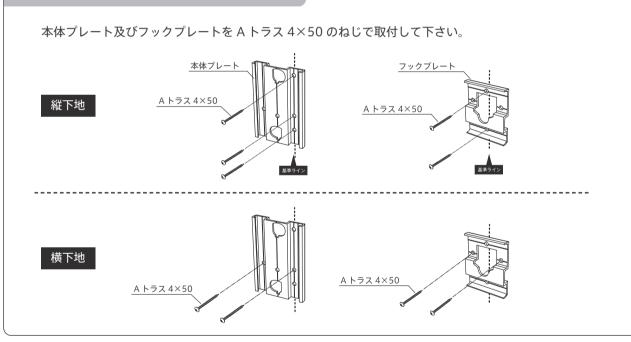
木工用ドリルの刃 (Φ3mm) で、 深さ 50mmの穴をあけて下さい。



コンクリート壁

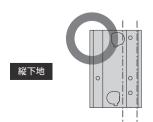
コンクリート用のドリルの刃 (Φ6mm) で、深さ 50mm の穴をあけ、付属のカールプラグを穴に差し込んで下さい。

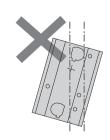




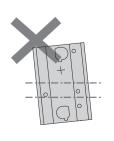
★注意 下地取り付けの良い例・悪い例

本体プレートは必ず下地(間柱)にしっかりと取付けて下さい。 縦方向の下地には3ヵ所、横方向なら2か所留付けて下さい。

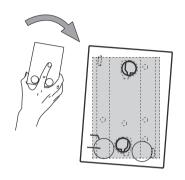




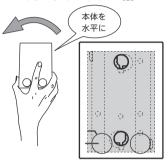




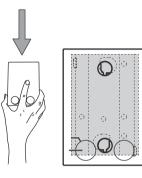
①本体を本体プレートに対して 右に傾けた状態で押し当て、



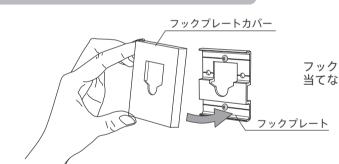
②そのまますり合せるように左 へ回し、本体が本体プレート と同じ水平の位置に揃えます。



③本体をまっすぐ下に降ろし ますと固定されます。



↑ 注意 固定後、本体を左右に動かし、しっかりと固定されているか確認して下さい。



フックプレートカバーをフックプレート上部の窪みに 当てながら矢印の向きに押し込んで下さい。

★ 注意 フックプレートカバーの外し方

